

平成22年度一般会計当初予算説明資料

4款 衛生費

2項 環境衛生費

環境立県推進課 (内線：7895)

4目 環境保全費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
【温暖化防止県民運動】 とっとりカーボン オフセット推進事業	5,865	6,781	△916				5,865	
トータルコスト	7,479千円 (前年度 9,267千円) [正職員：0.2人]							
主な業務内容	制度周知、補助金事務、普及啓発、関係機関との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	一人ひとりの行動が地球環境に負荷を与えていることを理解し、地球温暖化の防止に取り組む。(二酸化炭素等温室効果ガスの削減：(H2)3,974千トンCO2 (H21)3,750千トンCO2 → (H22)3,667千トンCO2)							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>「カーボンオフセット」の取組みを推進するため、県民へのPRを行うとともに、温室効果ガス排出削減クレジット発行等に係る申請手数料の支援を行う。</p> <p>(カーボンオフセットとは、自らの削減困難なCO2等排出量について、他者により実現した排出削減・吸収量を用いて、埋め合わせること。)</p>								
2 主な事業内容								
(1) カーボンオフセット普及啓発事業 (1,695千円)								
県民、事業者にカーボンオフセットの先進事例を紹介する。(新聞でのPR、シンポジウムの開催)								
(2) (新) カーボンオフセット促進事業 (2,170千円)								
○カーボンオフセット商品PR								
カーボンオフセット商品の製造・販売に取り組む事業者を募集し、カーボンオフセット商品を新聞等でPRする。								
○カーボンオフセットイベントPR								
県内の大規模イベントについて、グリーン電力証書などを活用したカーボンオフセットイベントを実施する事業者を募集し、そのイベントを新聞等でPRする。								
(3) 温室効果ガス排出削減クレジット推進事業 (2,000千円)								
温室効果ガス排出削減に取り組む事業者がカーボンオフセットをはじめとする国内クレジット制度等を活用するために必要な支援を行う。								
(補助対象者) 県内の民間事業者・NPO法人・公益法人・学校法人等								
(対象事業) 県内の温室効果ガス排出削減につながる国内クレジット等の認証に要する経費								
・ 認証機関への登録手数料、申請手数料								
・ 排出削減計画の第三者審査費用								
(補助率) 対象経費の10/10 (限度額200千円)								
3 これまでの取組状況、改善点								
<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度は、県有林で森林J-VER取得に向けた取組(1月にプロジェクト登録済)、カーボンオフセットプロバイダー養成研修の開催(7月)、シンポジウムの開催(1月)を実施した。 国内クレジット等取得の動きが徐々に見え出したものの、依然、認証取得に向かうまでには至っていない。国内クレジット等の買い手の有無、売買価格の不透明感が原因と考えられ、取組事例の蓄積が必要である。 カーボンオフセットを活用した商品及びイベントのPRを通じて、カーボンオフセットを普及し、国内クレジット等の取得推進を図る。 								